

# 平成24年度 行政視察の受入実績

本市議会では、他の自治体議会の行政視察を積極的に受け入れています。  
本年度の受入実績は、16件106名となっています。



【青森県黒石市議会】  
●雇用創造プロジェクトについて



【北海道士別市議会】  
●豊後大野市民病院改革プランについて

【宮城県栗原市議会】  
●市営急傾斜地崩壊対策事業について



【東京都台東区議会】  
●新人議員友好都市表敬訪問について

【千葉県木更津市議会】  
●新庁舎建設について  
●空き家バンク登録制度について

【静岡県御殿場市議会】  
●市立認定子ども園（緒方保育園）の  
設立・運営に係る実情の把握について



【三重県名張市議会】  
●まちなかの駅及び道の駅について

【兵庫県南あわじ市議会】  
●認定子ども園の管理運営について

【香川県さぬき市議会】  
●市民病院の統合について

【大分県別府市議会】  
●消費生活センターについて

【大分県豊後高田市議会事務局】  
●議事堂及び議場システムの整備の状況について

【兵庫県宍粟市議会】  
●幼保一元化・認定子ども園の  
推進について

【埼玉県日高市議会】  
●ジオパークについて  
●空き家バンク登録制度について

【大分県国東市議会】  
●新庁舎建設の経緯について

【福岡県嘉麻市議会】  
●ケーブルテレビ事業について



委員長 小野 泰 秀



副委員長 神志那 文 寛



委員 佐藤 徳 宣

私ども議会広報編集特別委員会は、委員6名の構成により、議会だより『声のかけ橋』を発行してまいりましたが、現体制での編集は今号をもって最後となります。

「読んでいただける議会だより」を念頭にわかりやすく、読みやすい紙面づくりに取り組んでまいりました。果たして読者の皆さまの期待に添うことができたかどうかは分かりませんが、これまでのご愛読に心より感謝申し上げます。

市民の皆さまに紙でお届けする『声のかけ橋』は、まずもって市議会に興味をもっていた方が第一の役割との思いで見やすい、分かりやすい誌面づくりに取り組んでまいりました。

ケーブルテレビでの一般質問の放送が定着してきた中で、広報誌の特性を生かした誌面づくりが求められているものと思います。

2年間のご愛読、誠にありがとうございました。

議員になって初めての広報委員を2年間経験させていただき、大変勉強になりました。

特に、議員の一般質問の校正には気をつかい、初めの頃は気付かなかったが、それぞれ議員には癖があつて面白いと思えました。

また、市民の皆さまに読みやすい紙面づくりを常に心掛けて取り組んできました。

他の委員は広報経験者で、いろいろな面でご指導いただき心から感謝を申し上げます。

## 2年を振り返って 広報委員を務めた6名の方から



委員 佐藤 辰 己

委員を4年間務め、「分かりやすく、見やすく」をモットーに編集してまいりました。

私自身にとっても、議員発言および執行部発言などについても再度確認、研さんすることができました。

1回の『声のかけ橋』発行に何度も委員会を重ねて出来上がる広報誌でしたが、これからも市民の身近にあり、関心の持てる議会広報であるべきと考えます。

これまでのご愛読、ありがとうございます。



委員 和田 哲 治

本誌の発行をもって、私たち広報委員も任期が満了します。2年を振り返るとの思いも、実は前期・後期と併せて4年間広報委員として在籍させていただき、様々の思い出を、こちらこそその気持ちと感謝でいっぱいです。

議員も新米でスタートしながら、いきなり広報編集委員会へ先輩の一言で決まった始まりでしたが、今期発行18回の広報誌をご愛読していただきました市民の皆さまにお礼を申し上げます。



委員 沓掛 義 範

2期4年間、広報委員として議会広報誌の発行（第18号、第35号）に携わってまいりました。

発行にあたっては、市民の皆さまが議員活動や一般質問、議会としての取り組みなど、より多くの活動が分かりやすく、読みやすい内容の構成に努めることで、私にとっても良い経験をさせていただきました。

これからも、市民の皆さまに親しまれる議会広報誌の発行を新しい広報委員さんに期待しています。